

環境経営レポート **2018**
Environmental Report

対象期間：2018年4月～2019年3月

**REC
VALUE**

現場を知るプロの、先読みレンタル。

エヌ・ティ・ティ・レンタル・エンジニアリング株式会社

発行日：2020年2月14日



環境経営方針	2
会社概要	3
会社組織図 / 取り組み対象範囲	4
環境経営運営図/役割表	5
環境経営活動計画と目標	6
環境経営実績	7
単年度目標と実績/各事業所の取組状況	8
グラフで見る環境経営実績	9
始めるECO活動&継続するECO活動	10~13
環境関連法規への違反、訴訟の有無	14
環境法令遵守評価結果表	14~15
代表者による全体の評価と見直しの結果	16

環境経営方針

◆基本理念

NTTレンタル・エンジニアリング株式会社は、ビジネスパートナーとしてお客様のニーズに即応し、良質・低廉なサービスを提供していくにあたり、全ての過程において、地球環境保全に積極的に取り組むとともに、環境にやさしい社会の実現に貢献していくものとする。

◆環境経営方針

事業運営において、環境負荷の低減のために生産性向上と環境整備活動(業務の効率化及び業務改善)等を通じて、必要な対策、改善および予防を継続的に実施する。

1. コンプライアンスの遵守と社会的責任遂行
2. 環境に配慮した事業推進
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 廃棄物排出量の削減
 - ③ 総排水量の削減
 - ④ グリーン購入の促進
 - ⑤ レンタル事業の推進
3. 環境経営方針は公開し、社員一人一人に周知します。
4. 社会活動を通じての貢献

2019年3月20日

エヌ・ティ・ティ・レンタル・エンジニアリング株式会社

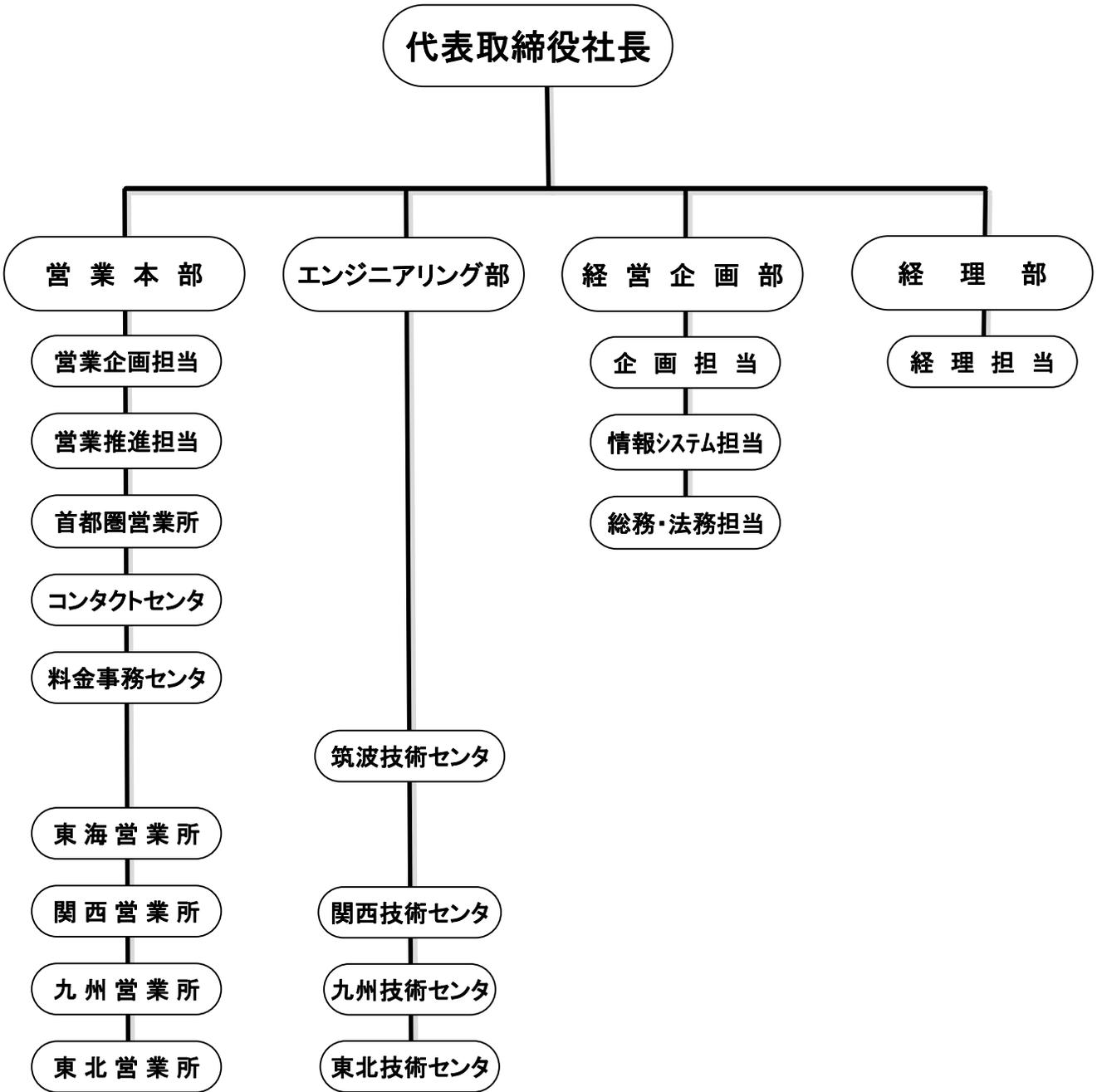
代表取締役社長

上間 功也

社名	エヌ・ティ・ティ・レンタル・エンジニアリング株式会社／略称：NTTREC (英文名) NTT RENTAL ENGINEERING CO., LTD.		
本社設立	〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目9番7号RECビル 昭和60年12月24日		
代表者	代表取締役社長 上間 功也		
資本金	3億8,000万円		
社員数	130名(2019年4月1日現在、契約社員を含む)		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電気通信設備工事用及び保守用機器・工具、情報通信機器及び情報処理機器のレンタル、リース、販売、割賦販売および保守並びに技術指導 2. 事務用機器、輸送用機器等のレンタル、リース、販売、割賦販売 3. 1の電気通信設備用機器の運用に関する調査及び開発 4. 電気通信工事の請負 5. 不動産の賃貸及び管理 6. 前各号に附帯、又は関連する一切の業務 		
認証	2012年3月23日 認証・登録	エコアクション21	2009年版

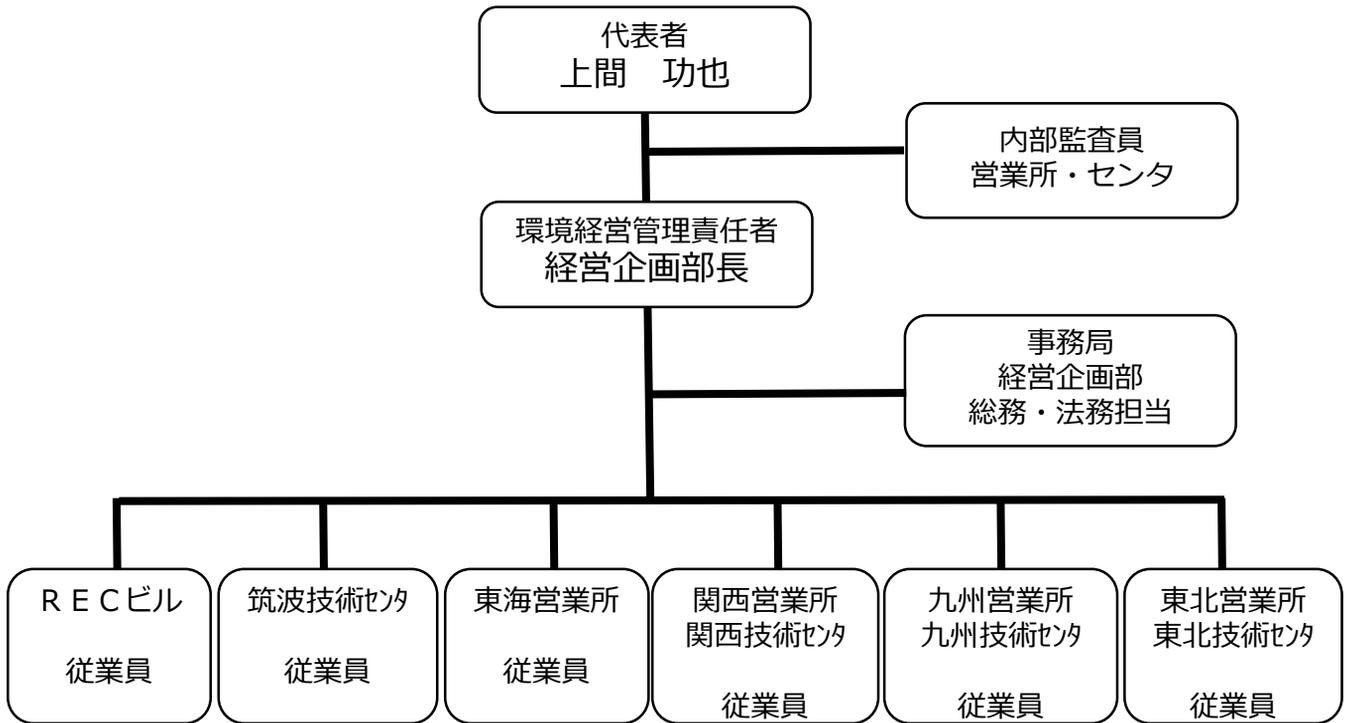
事業所一覧

名称	所在地	電話番号
本社	〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-9-7 RECビル	03-3862-1109
エンジニアリング部 筑波技術センタ	〒300-0048 茨城県土浦市千束8-3	029-825-0003
東海営業所	〒456-0016 愛知県名古屋市熱田区五本松町7-30 熱田メディアウイング	052-682-0900
関西営業所 関西技術センタ	〒570-0084 大阪府守口市緑町3-2	06-4250-0900
九州営業所 九州技術センタ	〒816-0905 福岡県大野城市川久保1-20-1	092-504-0919
東北営業所 東北技術センタ	〒981-1224 宮城県名取市増田字北谷274	022-383-0909



取り組み対象範囲

エコアクション 2.1 の取り組み対象範囲は、全組織・全従業員です。



役割表

役割	責任及び権限
社長 (代表者)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営方針の制定・誓約する。 2. 環境経営管理責任者を任命する。 3. 環境経営資源を確保する。 4. 全体の取組状況の見直しに必要な情報の収集をする。 5. 取組状況の評価と見直し並びに指示をする。
内部監査員	<ol style="list-style-type: none"> 1. E A 2 1 のシステムの適合性、運用状況を監査する。 2. E A 2 1 の監査結果を代表者に報告する。
環境経営管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社長に代わって E A 2 1 の構築・運用及び統括を行う。 2. 環境経営活動計画等、環境経営関連文書・記録を承認する。 3. E A 2 1 の実施状況を代表者に報告する。
事務局 (推進事務局) (推進委員)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営管理責任者の事務的業務を担う。 2. 環境経営方針、環境経営目標等を従業員に周知する。 3. 環境経営目標、環境経営活動計画の立案を行う。 4. 教育・訓練の実施及び外部からの環境経営上の苦情等の受付を行う。 5. 適用法規の調査と順法性チェックを行う。 6. 活動全般の補佐を行う。
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関連する環境経営目標及び環境経営活動計画の実施及び活動状況を確認する。 2. 関連する手順の作成及び運用管理を行う。 3. 緊急事態の対応手順書の作成及び対応策の試行、訓練、記録を行う。 4. 問題点の抽出、是正・予防処置を行う。 5. 関連作業に関する環境上の教育・訓練を行う。
全従業員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部門の環境経営目標及び環境経営活動計画に参画・実施する。 2. 環境経営改善活動への参画し、取り組みを推進する。



環境経営計画と目標

電力使用量の削減	2018年度目標	2019年度目標	2020年度目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズ（室温28℃）ウォームビズ（室温20℃）による冷暖房使用抑制 ・「3UP」「4DOWN」運動の推進（フロア移動は階段を利用推進） ・年休・ライフプラン休暇等の取得促進・適正な勤務時間管理の徹底 ・未使用時の共用スペースの照明の電源OFF ・離席時のパソコンモニター消灯 ・空調機にハイブリットファン取付 ・屋上壁面緑化の推進 ・日々使用量確認による省エネ意識の徹底 等 	0.5%削減 (2013年度比) 469,950kWh	前年度以下	前年度以下	
自動車(ガソリン使用削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ徹底(急加速、急停車の防止) ・燃費のよい車（低公害車）の購入（更新時） ・冷房の控えめ使用（7月～9月） ・同乗出張の励行、等 	0.5%削減 (2013年度比) 10,830kg-co2	前年度以下	前年度以下
廃棄物の削減（リサイクル推進）	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物の削減（ゴミの分別、マイカップ利用促進、コピー用紙の両面印刷・裏面活用） ・産業廃棄物の削減（リユースの実施） 	廃棄物種別の再確認と実績把握	前年度以下	前年度以下
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な節水促進 ・節水手順書等のポスター掲示 	前年度以下 (2017年度実績) 2,691m ³	前年度以下	前年度以下
グリーン商品の購入（紙資源の削減）	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙両面印刷・裏面活用 ・複数ページ印刷時の縮小印刷の実施 ・ペーパーレス会議の促進 	4.3%削減 (2013年度比) 4,412kg	前年度以下	前年度以下
レンタル事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタル商品の充実（レンタル商品の新規商品化等） 	新商品を年間30品以上	前年度以上	前年度以上
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「エコ検定」試験の全組織1名以上合格による環境人材の育成。 ◆2019年度以降の目標については組織見直しや事業所移転に伴うフロア面積拡大や営業力の強化、新規採用社員の再開等の影響があり、未達成項目が増えたため、2020年度までは前年度以下とし、その後3か年の平均実績を勘案し2021年度の目標を設定することとします。 			

環境経営目標	2013年度 実績 (前年比)	2015年度 実績 (前年比)	2016年度 実績 (前年比)	2017年度 実績 (前年比)	2018年度		
					実績 (前年比)	達成状況	目標値 (基準年) 2013
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂) ※1	208,362 (▲1.3%)	195,994 (▲3.7%)	202,912 (3.5%)	232,251 (14.4%)	253,585 (9.2%)	×	▲1.0%
電力CO ₂ (kg-CO ₂)	197,426 (1.4%)	188,309 (▲2.8%)	193,264 (2.6%)	219,749 (13.7%)	240,911 (9.6%)	-	-
燃料CO ₂ (kg-CO ₂)	10,936 (▲33.5%)	7,685 (▲25.1%)	9,648 (26.5%)	12,502 (29.5%)	12,674 (1.4%)	-	-
電気消費量 (kWh)	472,312 (1.4%)	450,499 (▲2.8%)	462,354 (2.6%)	527,716 (14.1%)	529,141 (0.3%)	×	▲0.5%
自動車燃料使用量 (ℓ)	4,708 (▲33.0%)	3,310 (▲21.4%)	4,149 (25.3%)	5,385 (29.8%)	5,463 (1.5%)	×	▲0.5%
廃棄物※2 (kg)	一般廃棄物	-	-	-	22,759	-	-
	産業廃棄物	-	-	-	31,130	-	
水使用量 (m ³)	2,222 (▲7.3%)	2,304 (▲10.9%)	2,411 (4.6%)	2,691 (11.6%)	2,451 (▲8.9%)	○	前年度以下
グリーン購入 (件)	524	936	949	1,053	952	-	-
事務用紙使用量 (kg)	4,610 (10.7%)	4,084 (▲6.8%)	3,738 (▲8.4%)	3,157 (▲15.5%)	4,080 (29.2%)	○	▲4.3%
レンタル商品の充実 (件)	93	43	31	43	38	-	-

※二酸化炭素排出係数は2018年度CO₂排出量算定の係数を用いています(本社=0.462東京電力、筑波・関西=0.442エネット、九州=0.463九州電力、東北:0.523東北電力)が、2013年基準1kg-CO₂排出係数は東京電力の実排出係数:0.418kg-CO₂/kw時(2009年12月環境省発表値)を使用しています。

二酸化炭素排出量、電気消費量、自動車燃料使用量は冷暖房使用の抑制やエコドライブ徹底の取組を実施しましたが、のCO₂排出係数の見直しや営業活動強化によるガソリン量増加に伴い未達成でした。
また廃棄物については2017年度以前は測定方法が統一されていなかったため把握できていませんでした。
来年度は2018年度実績を基準に前年度以下の目標として取り組んでいきます。

単年度目標と実績

評価基準 ○良くてきた ×頑張りが必要

2018年	目標	実績	目標削減率	削減率	評価	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
CO2削減 (kg-CO2)	207,269	253,585	▲1.0%	22.3%	×	53,203	71,429	55,442	73,511
燃料Co2 (kg-CO2)	10,830	12,674	▲0.5%	17.0%	×	2,688	2,897	4,330	2,759
電力削減 (kWh)	469,950	529,141	▲0.5%	12.6%	×	111,030	150,934	112,628	154,549
一般廃棄物 (kg)	-	22,759	-	-	-	5,532	5,809	6,290	5,128
産業廃棄物 (kg)	-	31,130	-	-	-	2,750	0	19,050	9,330
水使用量削減 (m ³)	2,691	2,451	前年度以下	▲8.9%	○	575	744	491	641
紙資源削減 (kg)	4,412	4,080	▲4.3%	▲7.5%	○	947	848	1,215	1,070

※電力削減はクールビズ・フォームビズ等の取組を実施したものの、基準年2013年と比較し未達成となった。
基準年以降、事業所の移転による賃貸面積の増加もあるため、来年度は2018年度を基準とし再度各種施策の徹底を図ります。

各事業所の取組状況

評価基準 ○良くてきた △普通 ×頑張りが必要

2018年	本社	筑波	東海	関西	九州	東北
CO2排出量	×	×	○	○	○	×
水使用量	○	×	—	○	○	○
事務用紙使用量	×	×	×	△	×	×

※電力排出係数は2018年度CO2排出量算定の係数を用いています(本社=0.462東京電力、筑波・関西=0.442エネット、九州=0.463九州電力、東北:0.523東北電力)

※東海支店については、テナントとしてオフィスビルに入居しているため電力・水使用用等は測定不能になります。

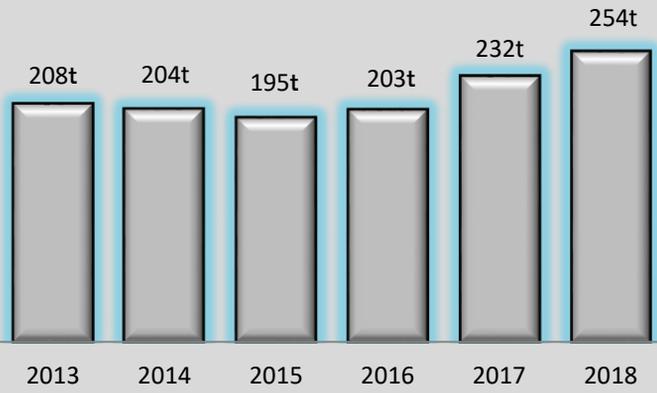
※評価は2017年度との比較になります。

(全社)事務用紙使用量が関西を除き未達成であり、営業力強化による手作りチラシやパンフレット作成等によるものと思われませんが、来年度は再度紙資源の削減に向けた意識の醸成や施策を展開します。

(筑波・東北)CO2排出量が未達成となりましたが、電力排出係数を見直したことが影響しています。各エリアとも社用車を利用した積極的な営業訪問等による燃料の増加も起因しています。今後もCO2削減に全社で取り組みます。

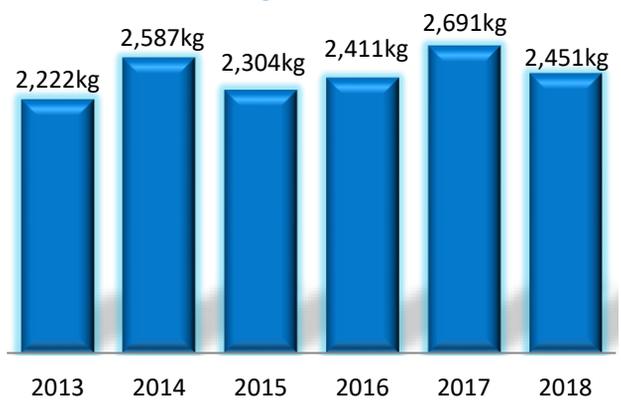
グラフで見る環境実績

二酸化炭素排出量



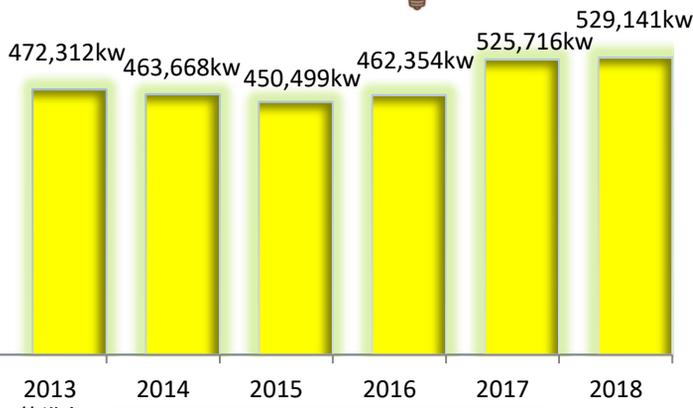
(基準年) 事業所移転でのフロア面積増等やCO2排出係数見直し等により未達成。

水使用量



地道な節水活動により目標達成。(基準年)

電力使用量

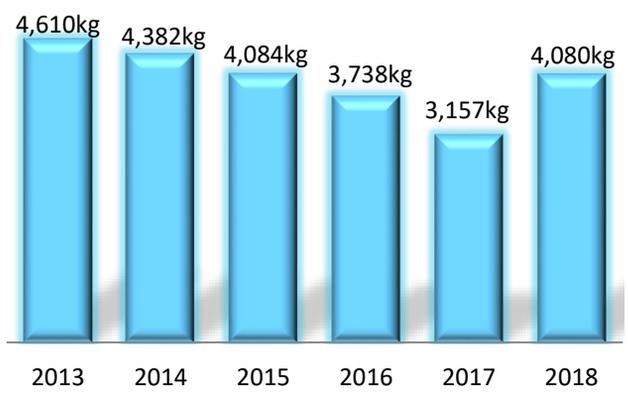


(基準年) クールビズ・ウォームビズ等、節電施策を展開したが、時間外・休日勤務等の影響で未達成。

事務用紙使用量

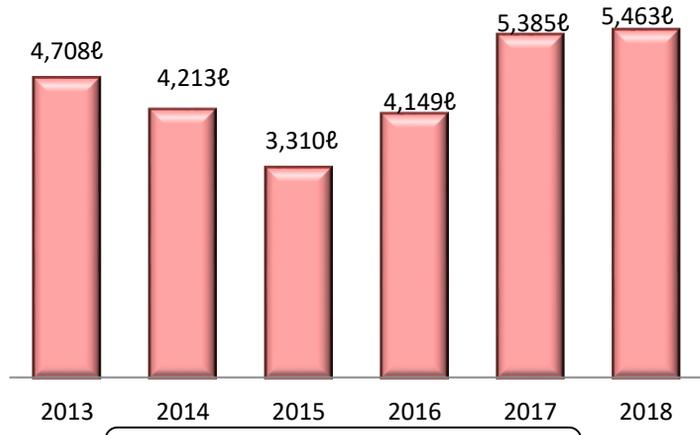


A4:1枚辺り4gとして換算



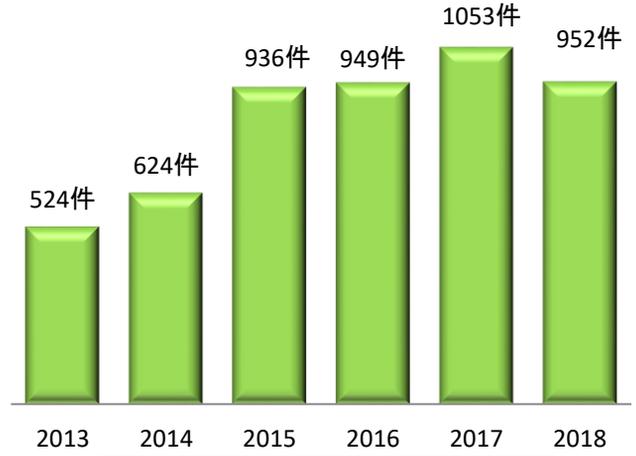
(基準年) 営業活動強化に伴う手作りチラシ等の作成で対前年増、対基準年では目標達成。

自動車燃料使用量



(基準年) エコドライブ運転を確実にしているが、商材を積載した訪問営業増に伴い未達成。

グリーン購入

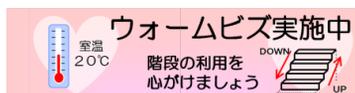


コストリダクションの観点からNTTグループ会社を利用。外部購入は環境ラベル認定品を購入するよう指示を行いグリーン購入促進を継続実施。

始めるECO活動&継続するECO活動

電力使用量削減

昼食時の照明OFF、クールビズ、ハイブリットファン設置、ウォームビズ、カーディガン等の着用推進、毎週水曜日の時間外自粛日設定、電力使用量の見える化等に様々な取組を行っていますが、使用量の増加となっています。引き続き意識啓発等を行い、電力使用量削減のため実施を続けます。



廃棄物削減(リサイクル推進)

リサイクル推進・最終処分量の削減に向け、ゴミ分別の取り組みを徹底しております。リサイクルペーパーや瓶・缶・ペットボトル、及び新聞紙類は、冊子、チラシ、新聞に細かく分別しています。

身近にできるリユースの取組としてマイボトル・マイカップを利用するよう促進し、使い捨て容器のゴミを削減に取り組んでいます。

継続的にゴミの分別、マイボトル・マイカップ利用促進をします。



事務用紙購入量削減

事務用購入量削減のため、Web会議システムを導入しペーパーレス会議を行うとともに、印刷時の集約印刷、両面印刷、プリントアウト数の見える化等の促進に取り組んでいますが、組織整備に伴う保管書類の増加や営業活動の強化による手作りちらし等の作成により事務用紙購入量は対前年増加しました。

今後も社員ひとり一人が無駄をなくす意識を持って積極的に取り組んでいきます。

地域社会貢献

環境意識や節電意識の醸成の一環として、千代田区も毎年、同様の主旨に基づき、ヒートアイランド対策である「打ち水」を実施しており、当社も、千代田区と一体となり、8月1日に区内一斉「打ち水」に参加しました。



廃棄物優良事業所認定

大野城市より「ごみ減量・リサイクル」における優良事業所の認定書が届きました。そこで、ステッカーをRECビル入口に貼り、来店されるお客様にアピールするとともに、事務室にも表彰状を掲示しました。



消防避難訓練

2011年の東日本大震災以降、自然災害や火災を想定し、不測の事態となった場合でも迅速な対応ができるよう、毎年、訓練を行っております。

今年は、1月期に本社（テナントビルの方々も参加）では避難訓練を行いました。

消防署立会のもと、初期消火・避難誘導・通報班の役割に沿って、通報・消火・AED訓練を実施しました。（各営業所・センタにおいても同様に消防避難訓練を実施しています）



水使用量削減

水使用量については、生活用水がほとんどを締めておりますが、屋上緑化での水使用量対策として自動灌水装置を設置いたしました。

給湯室等へ節水ステッカーを貼り水削減喚起を継続して行っています。

今年度の水使用量は増え削減には達成していないが無駄をなくす意識を持って積極的に取り組んでいきます。



環境関連法規への違反、訴訟の有無

当社に適用される主な法規は以下のとおりであり、これら環境関連法規への違反の指摘、訴訟等は、過去3年間ありません。

環境法令遵守評価結果表

法令名称	適用遵守事項	条項	確認内容	点検確認
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	エコドライブの推進	4条	打ち水など環境活動に参加していますか。	○
			電気量の削減に取り組んでいますか	○
茨城県生活環境の保全等に関する条例	アイドリングストップの推進	105条	ドライブドクターを車両に設置していますか	○
	エコドライブの推進		エコドライブ実践を周知していますか	○
	公共機関利用の促進		クリーン活動は実践していますか	○
愛知県の生活環境の保全条例	公共交通機関の利用促進	76条	移動には公共交通機関を利用するよう周知しましたか	○
	自動車運転時の排出ガス及び騒音の抑制		クリーン活動は実践していますか	○
名古屋市環境保全条例	自動車運転時の排出ガスの抑制	109条	ドライブドクターを設置し、エコドライブ実践を周知していますか	○
	アイドリングストップの推進	110条		
大阪府環境基本条例	豊かな環境の保全及び創造に関する施策の実施	5条	環境クリーン活動は実施していますか。	○
生活環境の保全に関する条例	自動車NOxPM法の排ガス基準の順守		ドライブドクターを設置し、エコドライブ実践を周知していますか	○
福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例	アイドリングストップなどのエコドライブの推進	38条	ドライブドクターを設置していますか	○
			エコドライブ実践を周知していますか	○
宮城県環境基本条例	アイドリングストップなどのエコドライブの推進	6条	ドライブドクターを設置していますか	○
			エコドライブ実践を周知していますか	○
名取市環境美化の促進に関する条例	環境美化の促進について被用者の啓発	3条	環境クリーン活動は実施していますか	○



環境法令遵守評価結果表

法令名称	適用順守事項	条項	確認内容	点検確認
フロン排出抑制法	定期点検	16条	点検記録はありますか	○
廃棄物処理法	分別の徹底	6条	分別は実施していますか	○
			別のゴミは混じていませんか	○
	一般廃棄物の適正な廃棄処理の委託		別のゴミは混じていませんか	○
産業廃棄物の管理及び届出	12条	産業廃棄物掲示板を設置して適正に保管していますか。	○	
		産業廃棄物管理票（マニフェスト）は保管していますか。		
		産業廃棄物管理表交付等状況報告書を都道府県知事に報告していますか。		
土浦市環境基本条例	廃棄物の適正処理	5条	マニフェストの保管はしてありますか	○
			県知事への報告資料は保管していますか	○
リサイクル法	パソコンの長期使用、再生部品等の使用	5条	パソコンの長期使用、再生部品等の使用の該当はありますか	○
			パソコンの長期使用、再生部品等の使用があった場合の処理は適正ですか	
家電リサイクル法	特定家電製品廃棄時の処理費用負担	6条	特定家電製品廃棄時の処理費用負担の該当はありますか	-
			特定家電製品廃棄時の処理費用負担があった場合の処理は適正ですか	
自動車リサイクル法	廃車時の処理費用負担	73条	自動車廃棄はありましたか。	-
			自動車廃棄があった場合、適正に処理していますか	
グリーン購入法	環境物品等の選択購入義務	5条	コピー紙は、エコマーク品を購入していますか	○
労働安全衛生法	労働安全法遵守	3条	健康診断は全社員実施していますか	○
			安全衛生委員会の議事録を周知していますか	○
			衛生管理者は届出ていますか	○
消防法	消防用設備等点検と届出	8条	消防設備の点検は実施していますか	○
	防火管理者届出		防火管理者は届出ていますか	○
			緊急連絡訓練は実施していますか	○



代表者による全体の評価と見直しの結果

NTT東日本グループの一員として、NTTグループCSR重点活動項目である「低炭素社会の実現」「循環型社会の形成」「生物多様性の保全」について取り組むべく、平成24年3月にエコアクション21の認証を取得し、活動を推進まいりました。

(29年度結果に基づく見直し)

平成30年度においては、社員一人ひとりが環境負荷低減に取り組むことを目標に、活動の見える化を通じて、活動の推進・更なる浸透を図りました。

全営業所等が共通に取り組むことが可能な指標として昨年度設定した「自動車の燃費の向上によるCO2削減」及び「コピー用紙の削減（購入量）」を引き続き、全社を挙げて取り組みました。

(全体評価)

平成30年度は、上記の取り組みに加え、社員が更に環境負荷低減を意識し、エコ人材として事業活動等を通じ、一人ひとりが持続可能な社会の実現に向け貢献していくとの観点から全社で「エコ検定」の取得を重点施策として奨励し、取得者を拡大に取り組みました。

全体として、目標未達成な項目が多く発生しましたが、営業力強化によるガソリン使用の増大や手作りチラシや提案資料等の増加、また電力CO2排出量のCO2係数を変更したことが、影響しているものと思われます。

次年度は各項目の基準値を前年度実績以下に変更することとします。

また、環境負荷低減に向け、引き続きエコ検定合格者拡大も含めた各種取り組みは実施していくこととします。

(今後の主な取り組み)

「低炭素社会の実現」に向けた取り組み

- (1) 電気使用量削減については、夏場の節電対策を含め、各種節電対策を継続実施していく。
- (2) ガソリン使用量削減については、今後も、エコドライブの徹底など、社員のエコ運転意識の高揚に努める。

「循環型社会の形成」

- (1) リサイクルは、今後もきめ細かな分別化を徹底し、3R活動（リデュース、リユース、リサイクル）及びグリーン購入の推進に積極的に取り組んでいく。
- (2) 事務用紙の削減に向け、両面・集約印刷の励行及び会議のペーパーレス化に向けたWeb会議の活用の拡大に取り組む。

「生物多様性の保全」

「ビル周辺清掃活動」を継続的に実施し、地域社会の一員として持続可能な社会づくりに貢献する。

**REC
VALUE**

現場を知るプロの、先読みレンタル。